

「聞く」から「語り合う」へ



町民の皆さんと、もっと気軽に、もっと楽しく、まちのことを語り合いたい。11月の町民対話サロンに向け、豊山町議会では2回にわたりファシリテーション研修を行った。説明して意見を聞くだけでなく、一人ひとりの思いを安心して話し、互いに聞き合う場をつくるため、議員自身が実践を交えながら学んだ。



STEP
1

まずは「対話」の考え方から

意見をぶつけ合うのではなく「思い」を語り合う

第1回では、安心して話せる「対話の場づくり」を学んだ。結論や正しさを競わず、一人ひとりの思いを大切にする。笑顔や拍手、声のかけ方など、対話が始まる前の準備も学んだ。



思いには、
根拠づけはいらない

STEP
2

今度は「実践」へ

「どう進めるか」を実際に体験

限られた時間で全員が参加できる進め方、付せんを使った整理、思いを共有する方法を実践。ほかの人の話を聞いて「こんな考え方もあるんだ」と気づき、そこから対話を広げることも大きな学びとなった。



STEP
3

11月いよいよ町民の皆さんと

学んだ先にあるのは、町民の皆さんとの対話

目的は研修そのものではない。立場や年齢に関係なく「こんな豊山町になったらいいな」「こんなことができたなら楽しいな」を、一緒に話し、一緒に聞き、一緒に考える場を目指している。



町民対話サロン 11月1日(日)13時～

社会教育センター 視聴覚室

当日の見学可能

